



政府統計

報道関係者 各位

平成 28 年 3 月 16 日

【照会先】

大臣官房 統計情報部

人口動態・保健社会統計課 保健統計室

室長 岩崎 容子

室長補佐 渡 三佳

受療行動統計係

(代表電話) 03(5253)1111(内線 7518)

(直通電話) 03(3595)2958

平成 26 年受療行動調査（確定数）の結果

厚生労働省では、このほど、「平成 26 年受療行動調査（確定数）」の結果を取りまとめましたので公表します。

受療行動調査は、医療施設を利用する患者に対し、医療を受けた時の状況や満足度などを調査し、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的としています。

この調査結果は、「平成 26 年受療行動調査（概数）」（平成 27 年 9 月 8 日公表）について、「平成 26 年医療施設静態調査」（平成 27 年 11 月 19 日公表）及び「平成 26 年患者調査」（平成 27 年 12 月 17 日公表）とのデータ結合・再集計により、概数であった数値を確定数とし、さらに患者調査の調査項目とのクロス集計により新たな図表を追加したものです。

【調査結果のポイント】

○診察・治療・検査などの内容（主な傷病分類別・外来患者のみ）

来院の目的を「診察・治療・検査などを受ける」と回答した者について、主な傷病分類別に診察・治療・検査などの内容をみると、「新生物」では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が43.9%、「循環器系の疾患」では「定期的な薬の処方を受ける」が38.1%、「呼吸器系の疾患」では「症状を診てもらおう」が61.9%とそれぞれ最も多くなっている。

【9頁 図7】

○自覚症状（主な傷病分類別・外来患者のみ）

受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった時に「自覚症状がなかった」者は、「新生物」で43.8%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で43.2%と高くなっている。

悪性新生物についてみると、「自覚症状がなかった」が多かったものは、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」57.9%、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」56.2%、「前立腺の悪性新生物」56.0%となっている。【13頁 図12】

詳細は別添概況をご覧ください。